

公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書の選定

1. 学校図書館向き図書の選定及び選定図書への件名付与の実施……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。2016年度は、毎月2回(4・8・12月は1回)、全部で18回行った。結果は機関誌『学校図書館速報版』で公表した。また、選定図書への件名付与作業も実施している。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第62回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施した。この調査は、全国から抽出した小学生2,733名(31校)・中学生2,914名(31校)・高校生3,064名(28校)の8,771名を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』11月号(793号)で公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2016年度学校図書館調査」を実施した。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出した、1,164校を対象に6月に実施し、結果は機関誌『学校図書館』11月号(793号)で公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、平成28年度の学校図書館図書整備費200億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを実施した。調査時期は2016年5月、1,103教育委員会(回収率63.4%)から回答を得たものを機関誌『学校図書館』2017年4月号(798号)で公表した。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』(月刊)及び『学校図書館速報版』(月2回)を定期的に刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載した。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書に関する最新ニュース、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第62回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。全国の小・中・高等学校や海外の日本人学校の2万6,077校から437万6,313編の応募があった。2017年2月3日に経団連会館で表彰式を行った。
 - ①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第63回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18点を選定した。
2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第28回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く38都道府県で実施した。6,955校70万1,239点の応募があった。2017年2月24日に如水会館で表彰式を行った。

①「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第28回読書感想画中央コンクール 指定図書」13点を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展への寄与を目的に「第22回日本絵本賞」「第22回日本絵本賞読者賞」を毎日新聞社と共催で授賞した。大賞には『きょうはそらにまるいつき』荒井良二/著、偕成社が選ばれた。2017年3月28日に毎日ホールで表彰式を行った。
 - ①「よい絵本」及び「日本絵本賞読者賞 候補絵本」
全国SLA絵本委員により、生涯にわたる絵本読書の振興に寄与する「よい絵本」の選定及び読者が投票する「日本絵本賞読者賞」の候補絵本24点を選定した。
 - ②「絵本週間」の実施
優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して第40回「絵本週間」を2017年3月27日～4月9日の間実施した。
2. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAが委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第49回夏休みの本(緑陰図書)」40点を選定した。

カ SLBAの図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会(SLBA)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAの選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「SLBA」という)」の委嘱を受けて「SLBA選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を顕彰する「第46回学校図書館賞」厳正な審査の結果、該当なしとなった。引き続き「第47回学校図書館賞」を募集した。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第18回学校図書館出版賞」は、株式会社小峰書店、株式会社大月書が選ばれた。2016年6月10日に日本出版クラブ会館で表彰式を行った。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

ア 研究・研修会

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【プロジェクト】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象にした「学校図書館実践講座」を毎月2回(4・12・1月は1回、8月はなし)、全部で19回行った。
2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【プロジェクト】…(1)
図書館総合展にて「第18回学校図書館セミナー」を開催する予定であったが、11月5日・26日に「学校図書館年記念・絵本・読書セミナー」を専修大学で行った。
3. 「読書会コーディネータ養成講習会」の実施……………【プロジェクト】…(1)
読書会の振興、普及に寄与するための「読書会コーディネータ養成講習会」を6月25日(島根)・7月9日(徳島)・10月22日(茨城)・11月12日(滋賀)・11月19日(長野)で開催した。
4. 特別支援学校における学校図書館の現状に関するフォーラムの開催……………【プロジェクト】…(2)
特別支援学校対象の学校図書館調査を踏まえ、学校図書館の在り方や改善の方策、要望に応える支援などの研究を進めるためにフォーラムは開催できなかった。
- ☆ 5. 学校司書資格及び研修制度の研究の推進……………【プロジェクト】…(2)

学校司書の法制化に対応しての資質の向上を図るための研修制度のあり方について検討した。

- ☆ 6. 「全国学校図書館研究大会」の開催 ……【研究部】…(2)
「第40回全国学校図書館研究大会(神戸大会)」を8月8日、9日、10日の3日間、神戸学院大学において2,100名の参加者を得て開催した。
- ☆ 7. 「2016 IASL 東京大会」の開催 ……【プロジェクト】…(2)
2016 IASL 東京大会を8月22日～8月26日に明治大学において開催した。30か国から300名以上の参加があった。

イ 資料・情報の提供

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行 ……【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報及び学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高校生版の2種)を刊行した。編集を外部のプロダクションに委託することで、効率的な制作をした。
2. 各県SLAのWebサイト作成 ……【プロジェクト】…(3)
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等に利用している。
3. 『各県交換情報のWeb版』の作成と活用 ……【プロジェクト】…(3)
各県SLAの組織や活動等に関する『各県交換情報』をWebサイトに掲載し、その活用を図ることができた。
- ☆ 4. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施 ……【プロジェクト】…(3)
各地区の研究会や研修会、大会などの折に各県の組織訪問を通して、各組織の現状を把握し改善のための支援策を講じることができた。
- ☆ 5. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施 ……【プロジェクト】…(3)
各県SLAの刊行物の監修・作成協力等により、内容の充実と刊行物の普及ができた。
6. メールマガジンの活用 ……【プロジェクト】…(3)
各県SLA及び会員へ速やかな情報配信を目指したメールマガジンの一般会員も1,079となり、各県SLA担当者向けの連絡文書を送付するメールマガジンの購読者も増加している。
7. 『よい絵本』Web版の刊行 ……【プロジェクト】…(5)
絵本読書の普及を図るため、全国SLA絵本委員会の研究成果である絵本の解説目録『第28回よい絵本』を、Web版として全国SLAホームページ上に掲載した。
8. 研究成果の刊行普及啓発 ……【プロジェクト】…(4)
学校司書の仕事内容などを簡潔にまとめて、その役割や配置促進と活性化を促すための啓発書『「学校司書の役割」配置促進と活性化』(仮題)を刊行に向けて、準備を進めている。
9. 啓発図書の刊行 ……【編集部】…(5)
 - ① 『探究学習スキルワーク』差し替え本の刊行
『探究学習スキルワーク』の絶版に代わる『思考を深める探究学習：アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館』桑田てるみ・著 を刊行した。
 - ② 『中学校における学び方の指導』(仮題)の刊行
機関紙で連載した「中学校における学び方の指導」をもとに『楽しく進める「学び方の指導」：中学校司書教諭のあゆみ』佐藤敬子・著 を刊行した。
 - ③ 『一歩前へ！学校図書館』の刊行
機関紙で連載中の「一歩前へ！学校図書館」連載終了後に『一歩前へ！学校図書館：知ろう、つかもう、やってみよう』熊谷一之・著 を刊行した。
 - ④ 『作ろう！わくわく図書館だより』の刊行
『図書館ごよみ&イラスト1200:すぐに使える素材集』の続編で図書館だより作成ツール『作ろう！わくわく図書館だより』太田敬子・著 を刊行した。

ウ 学校図書館の充実発展

1. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、学校図書館活動推進委員や各県S L Aの協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行なった。
2. 各県S L A事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国S L Aの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県S L A事務局長会議を2017年2月3日(木)に開催した。
3. 全国S L A研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)
全国S L Aが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国S L A研究協力員制度」について検討し、各県S L Aから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱する予定であったが、本年度は推薦が無かった。
4. 各県S L Aへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県S L Aの研究活動を支援するために研究助成を行引き続き行った。

エ 研究視察

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
本年度は実施しない

オ 事業の活性化

1. 全国S L A「学校図書館スーパーバイザー」制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国S L A「学校図書館スーパーバイザー」による指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図っている。
- ☆ 2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
専門家を交えた委員会を組織して、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めている。
3. 学校図書館講演会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する講演会は、事業仕訳との関係で、開催を見送った。
4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理が完了したので、情報提供についても取り組む予定である。

附属明細書

事業における重要な事項は2016年度(平成28年度)事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。